

地球温暖化ってナニ？

1 ねらい

- (1)「気候変動」「地球温暖化」について正確な基礎知識を学ぶ。
- (2)「気候変動」による影響にはどのようなものがあるのか関心を持つきっかけをつくる。
- (3)「気候変動」による影響は沖縄でも起きること、ふだんの生活で私たちができる取組（緩和策・適応策）について気づかせ、実践する。

2 関連学年・教科

6年・理科、社会、総合（環境）等

3 用意するもの

ワークシート／模造紙／付せん紙

4 進め方

●問いかけ

地球温暖化ってナニ？どんな影響があるの？私たちにできることはナニ？

●本題

- (1)DVD教材で解説していた内容で今日知ったこと、学んだこと、わからなかったことについて付せん紙に書いて、模造紙にはっていく。
- (2)社会全体で取り組まなければならないこと、自分ができる取組について付せん紙に書いて、模造紙にはっていく。

●気づき

- (1)このまま対策を取らないと自分の生活や地球にどんな影響がでてくるのか？
- (2)自分でもできる取組はどのようなものがあるか？

●発展

- (1)これまで意識していなかった「緩和策」「適応策」を実践していく。
- (2)家に持ち帰り、家族全体に波及させる。

ワークシート

～気候変動の影響にいくつ気付ける？何ができる？～

月 日

メンバー名

なまえ

①地球温暖化ってどんな現象？

②地球温暖化の原因は？私たちのどんな行動が地球温暖化の原因を作っている？

③地球温暖化(気候変動)はどこで起きている？どんな影響がある？今後どうなりそう？

④緩和策ってどんな対策？どんな取組がある？

⑤適応策ってどんな対策？どんな取組がある？

⑥緩和策、適応策として、自分たちにもできそうなことを書いてみよう。

⑦授業を通しての感想

回答例

ワークシート

～気候変動の影響にいくつ気付ける？何ができる？～

月 日

メンバー名

なまえ

①地球温暖化ってどんな現象？

- ・地球温暖化は地球の温度が上がってきている現象のこと。
- ・ここ 170 年のうちに 1℃以上も地球の温度は上がってきている。

②地球温暖化の原因は？私たちのどんな行動が地球温暖化の原因を作っている？

- ・地球温暖化は温室効果ガス（二酸化炭素など）が原因で起こる。
- ・温室効果ガスが増えると熱が地球の外へ逃げにくくなるので、気温が上がる。
- ・二酸化炭素は石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料を燃やすことでできる。
- ・18 世紀後半に起きた産業革命以降、様々な機械や便利な道具が発明され、世界中で石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料を多く使われるようになったこと、二酸化炭素を吸収してくれる森の木々を切り倒し開発を進めてきたことなどが地球温暖化の主な原因となっている。
- ・私たちの暮らしの中では、電気やガスを使う、ガソリンで車を走らせる、ビニールなどのごみを燃やすことなどで、二酸化炭素が発生する。

③地球温暖化（気候変動）はどこで起きている？どんな影響がある？今後どうなりそう？

- ・地球温暖化は、沖縄、日本を含む世界中で影響が現われている。
- ・日本でも農作物被害、熱中症、大雨の頻度の増加などによる洪水被害の問題が起きている。

【地球温暖化（気候変動）の影響】

- ・2100 年頃には地球の平均気温が最大で約 5.7℃あがる。
- ・海面が最大で約 1 m 高くなる。
- ・雨の降り方が変わること、内陸部では乾燥した場所が広がり、大規模な山火事が増える。
- ・蚊やダニなど病気を運ぶ生き物の棲む場所が変わること、菌やウイルスが広まる範囲も変わり、熱帯地域で見られるマラリアなどの病気が他の地域まで広がる。

【沖縄における影響】

- ・沖縄では、1 年間の平均の気温が、ここ 100 年で約 1.2℃高くなっている。海面の高さも 1 年あたり 2.3mm ずつ上昇している。
- ・気候変動が進むと、沖縄でも熱中症が増えたり、マンゴーやモズクが育ちにくくなったりする。海面が高くなることで砂浜が無くなったり、暑くてサンゴが死んでしまったりする。

④緩和策ってどんな対策？どんな取組がある？

【意味】

- ・温室効果ガスを出す量を減らし、人の活動が気候に与える影響を小さくする対策のこと。

【具体的な対策】

○社会で取り組んでいること

- ・二酸化炭素が出る原因の化石燃料をなるべく使わない。二酸化炭素を吸収する森林を育てる。
- ・太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用、電気自動車や省エネルギー住宅の普及。

○一人ひとりができること

- ・関心を持って、世界で今何が起きているか、情報を集め、周りの人達と話をすること。
- ・使わない部屋の電気はこまめに消す。水道を出しっぱなしにしない。
- ・蛍光灯をLEDに変えてみる。
- ・バスなどの公共交通機関の利用、自転車での通勤・通学。
- ・ごみを減らす、資源として使えるようごみをきちんと種類ごとに分ける。

⑤適応策ってどんな対策？どんな取組がある？

【意味】

- ・気候変動から社会や暮らしを守るための対策のこと。
(・暮らしのあり方や産業を気候変動にうまく合わせること。)

【具体的な対策】

○社会で取り組んでいること

- ・大雨で川が溢れないよう川幅を広くする。
- ・赤土が川や海に流れ出ないように工事を行う。
- ・暑さに強い果物や野菜などの品種開発。
- ・暑さからサンゴを守る方法（遮光ネットを張るなど）の研究。

○一人ひとりができること

- ・日々の生活の中で、気候変動の影響に注意して、適応する方法を調べる。
- ・今までよりも気をつけて、熱中症に注意して気温の予報を見たり、飲み物を準備したりする。
- ・「ハザードマップ」などを確認しておく。

⑥緩和策、適応策として、自分たちにもできそうなことを書いてみよう。

※上記④⑤の「一人ひとりができること」の中から書いたり、自分たちで考えた対策を書いたりする。

⑦授業を通しての感想

気候変動対策について家族と一緒に考えてみよう！

<今日みんなで学んだことを記入してみよう！>

学校で記入

1. 地球温暖化の原因

2. 気候変動による影響

3. 私たちが出来る緩和策・適応策の取組

<家族にインタビューしてみよう！>

家庭で記入

①上の3つのことを家族に説明してください。

②次のことを家族にインタビューして、聞き取った内容を書いて下さい。

1. 気候変動による影響を知っていましたか？

2. 家庭や社会でできる気候変動対策の取組はなんですか？

<ご家族の皆様へ>

家庭で記入

○お子様からのインタビューされた感想やこの授業へのコメント等を記入して下さい。